

# あいち 国際プラザ



2024.1 No.159

**AIA** AICHI INTERNATIONAL ASSOCIATION

公益財団法人 愛知県国際交流協会  
ニュースレター



紙の一枚

国際弓道連盟 10 周年記念事業の様子

■ 写真に関連する内容については 2～3 ページの特集「世界弓道大会が愛知・名古屋にやってくる！」で紹介しています。

## Contents

### 特集 世界弓道大会が愛知・名古屋にやってくる！ ..... P.2～3

- AIA だより 協会の主催・共催事業などを掲載しています ..... P.4～6  
ブラジル・アルゼンチン愛知県人会母県訪問団が来日しました  
令和 5 年度国際交流推進功労者表彰式  
「令和 5 年度日本語ボランティア入門講座」を開催しました  
「外国人児童生徒指導関係者スキルアップ研修 in 大口町」を開催しました
- Focus on ! ..... P.7  
国際交流ステーション 長久手市国際交流協会  
世界の街かどレポート 日本語学習者が見た香港と日本の常識の違い
- ようこそ！愛知のものづくりを支える留学生 ..... P.8

当協会では賛助会員を募集しています。詳細は [愛知県国際交流協会 賛助会員](https://www2.aia.pref.aichi.jp/somu/j/send/boshu.html) で **検索**

<https://www2.aia.pref.aichi.jp/somu/j/send/boshu.html>

## 世界弓道大会が愛知・名古屋にやってくる！

愛知県では、全国、世界に打ち出せるスポーツ大会を招致・育成し、地域の活性化につなげる取組を行っています。この度、「第4回世界弓道大会」が愛知・名古屋で開催されることとなりました。これまでの大会は第1回と第3回が東京、第2回がバリで開催されており、愛知県では初めての開催となります。愛知県は弓道場が多く、競技人口も全国1位であり、また、名古屋市中区の「三輪神社」に尾張徳川家の矢場があったことが「矢場町」の地名の由来になっているなど、弓道にゆかりのある地域でもあります。

ここ愛知・名古屋で世界の弓道家たちの技を目の当たりにできる貴重な機会です。当日は是非会場に足をお運びください。(入場無料、事前申し込み不要)

### 1. 日時

2024年2月29日(木) 8:45～17:00 (7:30開場予定)

### 2. 会場

日本ガイシホール 特設弓道場 (名古屋市南区東又兵衛町5丁目1-16)

### 3. 大会概要

競技種目: 近的競技 直径36cmの的を28mの距離から狙って、的中数を競う競技

競技種類: 団体競技 3人1組のチーム戦。男女区別なし(男女混成可)



▲薩摩日置流腰矢指矢の演武

#### タイムスケジュール

8:45～	特別演武	さつまへきりゆうこしやしや 薩摩日置流腰矢指矢の演武
9:15～	開会式	
	矢渡し	大会の成功と無事故を祈願して、主催者が行う射礼儀式(模範演武)
10:30～	予選	各チーム12射(各選手4射)×2回 ⇒ 的中上位16チームが決勝へ
14:00～	決勝	各チーム12射(各選手4射) トーナメント方式
16:30～	表彰・閉会式	

### 前回(第3回)大会の状況

2018年4月24日(火)～25日(水)に明治神宮武道場などにおいて開催。団体競技と個人競技が行われ、団体競技には20カ国・地域、個人競技には34カ国・地域・団体より881名が参加。団体競技では日本が第2回大会に続いて連覇。(2位は台湾、3位はイタリア)個人競技の部でも日本人選手が1位～3位を独占する結果となりました。(※第4回大会は団体競技のみの実施となります。)





## 弓道をしている外国人の方2名にお話を伺いました！

## Paul Lee Rumme (ポール・リー・ルメ) さん アメリカ出身 愛知県在住

## ●ポールさんのことを教えてください。

初めて日本に来たのは6歳の時です。父が宣教師だったので、家族全員で来日しました。その後はスイスなど別の国にも行ったりなどしましたが、44歳の時に再来日しました。仕事は大学でドイツ語と英語を教えています。

## ●弓道を始めたきっかけは。

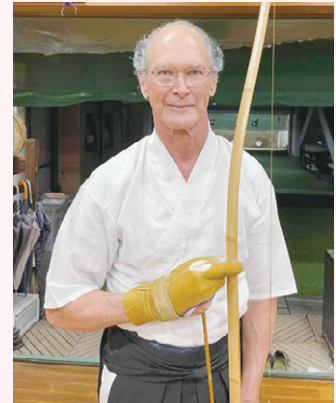
僧侶をしていた兄から、「日本に戻るなら日本の文化を覚えたらどうか。」と薦められました。「茶道・華道」の経験はあったので、今度は「武道」をやろうと思いました。体力的にも無理なくやれそうな「弓道」を選びました。全く知識がない状態で始めましたが、やり始めてだんだんと奥深さを知りました。動作一つ一つ、すべてに意味があることに魅力を感じています。

## ●第4回世界弓道大会について

世界大会に出場はしませんが、「通訳」として関わらせていただきます。もちろん観戦も楽しみにしています。観戦のポイントは、やはり「離れ」のところ。「離れ」とは矢を放つ瞬間の動作のことで、自然な「離れ」にするためには、「流れる力・通る力」を意識する必要があります。型を守らないといけませんが、体が固まると、矢は飛ばなくなります。バランスが大事です。「離れ」がきれいな時は的に当たります。あとは、試合前の模範演武にも注目して下さい。完成された射形の美しさを感じていただきたいです。

## ●今後の目標は

88歳まで弓を引くのが目標です。そのため日々の筋トレにも励んでいます！



## 談 献華 (ダン シェンファ) さん 台湾在住

## ●談さんのことを教えてください

台湾で彫刻家をしています。弓道を始めて12年ほどで、弓道場を3カ所経営しています。2014年のフランス大会と2018年の東京大会にも出場しました。

## ●弓道を始めたきっかけは。

もともとはアーチェリーをしていました。ですがアーチェリーは的に当てるだけなので、もっと精神統一の世界を知りたいと思い、弓道をすることにしました。私は芸術家なので、弓道もひとつの芸術だと思っています。初めて日本の弓道の先生の演武を見たとき、衝撃を受け、とても感銘を受けました。とても素晴らしい芸術だと思いました。

## ●第4回世界弓道大会について

台湾の代表選手として出場します。百発百中を目指しています！世界大会で良い成績を収め、より多くの人々に弓道を知っていただけることを願っています。

## ●今後の目標は

一生弓道をしていきたい。今、門下生は70人程いますが、もっと台湾に弓道を広めたいし、伝承していきたいと思っています。弓道は芸術品。私はそれをもっと多くの人に知ってほしい。また、台湾と日本の交流をもっとしていきたいと思っています。もともと台湾と日本の交流は深いのですがさらに交流を深めるための活動もしています。



## 【問合せ先】

一般社団法人 愛知県弓道連盟 (メール: aichiken@kyudo.jp)

愛知県スポーツ局スポーツ振興課 (電話: 052-954-6459、メール: sports@pref.aichi.lg.jp)

## 【関連リンク】

第4回世界弓道大会 特設ページ <https://www.pref.aichi.jp/soshiki/sports/kyudotaikai.html>

## ブラジル・アルゼンチン愛知県人会母県訪問団が来日しました ▶▶▶▶

11月13日から16日まで、ブラジルとアルゼンチンに移住された日系人の方々が母県である愛知県を訪問しました。そして11月15日には、訪問団による当協会会長表敬訪問が行われました。

最初に、当協会神田真秋会長より「私は、ブラジル、アルゼンチンを二度訪問しました。皆さんも、日本でよい思い出をたくさんつくってください」とあいさつがありました。続いて、ブラジル愛知県人会団長の横山リカルド幸生氏より、「半田で私たちにとってめずらしいお酢作りの工程を見させていただきました。ブラジルの日系人はブラジルで生まれた2世、3世が多いですが、愛知県のおかげで、初めて日本を訪問した人もいます」とあいさつ。次に、在アルゼンチン愛知県人会団長の増田アレハンドロ氏より、「1985年に愛知県の研修生として、コンピュータマイコン制御技術を学びました。愛知県からの招待状で再び県を訪れることができ、様々な文化と人々と触れ合うことができていることに感謝します」とあいさつがありました。

記念品贈呈の後の懇談会では、33年前に海外技術研修員として愛知県で農業技術を学んだブラジル人女性が現在ブラジル農業・畜産・供給省でご活躍されているというお話や、過去に県費留学生だったアルゼンチン女性が、その娘さんも現在同じ県費留学生として愛知県で学んでいるというお話など、短い時間ではありましたが、和やかに歓談しました。

また、日本の某アニメの位置情報アプリゲームをやっているというブラジルからの参加者がいらっしや、当協会の職員とゲームのフレンドになるなど、思わぬ国際交流もできました。



▲ブラジル愛知県人会団長の横山リカルド幸生氏のあいさつ(横山氏は右)



▲在アルゼンチン愛知県人会団長の増田アレハンドロ氏のあいさつ



▲神田会長(左)との記念品交換



▲母県訪問団の皆さん

### 母県訪問団に随行しました！

4日間の滞在のうち、11月15日に随行しました！その日の予定はジブリパークとトヨタ博物館を訪問し、その後当協会の会長へ表敬訪問をするというものでした。ジブリパークではみなさん写真を撮ったり、世界各国の言語に訳されたジブリの絵本等を見つくりと見たりして回りました。トヨタ博物館では和食のお弁当をみんなで食べ、話が盛り上がりましたよ。印象的だったのは、みなさん「いただきます」と自然に口々にして召し上がっていたこと。日系人なので当然なのかもしれませんが、ブラジルに長らく住んでいらっしやっても日本の作法を続けていることが感慨深かったです。同じテーブルになったお二人は流暢な日本語を話され、とても話が盛り上がりました。

また、表敬訪問では畏まった雰囲気では最初はみなさん緊張されていましたが、神田会長や両団長の挨拶が終わり、歓談タイムになるとこやかに会長や当協会職員と話していました。

翌16日の解散式のあと、お見送りに行きましたが、みなさんハグをしてくださり、たった1日の随行でしたがお別れするのが名残惜しい気持ちになりました。

次回母県訪問団が来日されるのは5年後。その時にまたお会いできるのを楽しみに、boa Viagem ! buen viaje ! (よい旅を！)



▲一緒にお弁当を食べたタミコさん(右)とノリコさん(中央)



# 令和5年度国際交流推進功労者表彰式



11月8日（水）、令和5年度国際交流推進功労者表彰式を、あいち国際プラザで行いました。これは、多年にわたり国際交流の推進に尽力された方々を表彰することにより、国際交流の進展に寄与することを目的としているものです。39回目の本年度は、下表のとおり個人の部2名、団体の部6団体を表彰いたしました。

受賞者の皆さん、おめでとうございます。今後のさらなるご活躍を期待しています。



▲本年度の受賞者の皆さんと神田会長

## 個人の部

(敬称略)

氏名(住所)	主な功労
こいけ たかひろ 小池 高弘 (蒲郡市)	蒲郡国際交流協会の会長として、地域企業と協力しながら、役員組織や事業部会の創設など、国際交流事業の基盤を整備し協会の発展に寄与した。 また、地元企業と連携し日本語スピーチコンテストを開催したり、愛知万博でフレンドシップ国となったポーランドとの交流事業の継続に尽力したりするなど、地域の国際交流・多文化共生の推進に貢献した。
みうら 三浦 クミコ (知立市)	知立団地自治会の役員を担いながら、外国人住民が気軽に相談できるカフェを運営するなどして、様々なトラブルを解消してきた。 市民活動団体を立ち上げ、国籍を問わずランドセルや学生服等を届けるプロジェクトなどの支援を実施したり、警察で通訳ボランティアとして活動したりするなど地域の国際理解、多文化共生社会づくりに貢献した。

## 団体の部

(50音順)

名称(所在地)	主な功労
あいちけんりつはんたこうとうがっこう 愛知県立半田高等学校 (半田市)	イギリスやタイの高校と姉妹提携等結び、相互交流を実施したほか、アメリカのテキサス州等の高校生とオンラインを含めた学生間交流を実施し、国際親善を深めた。海外の学生や県内外の他校の学生とシンポジウムによる交流を実施するなど、「スーパーサイエンスハイスクール」指定校としてグローバルリーダーの育成及び国際交流の推進に貢献した。
さかえまちしょうてんがいしんこうくみあい 栄町商店街振興組合 (名古屋市)	1998年にフランスのモンテーニュ通り商店街、2014年にベルギーのルイズ通り商店街と姉妹提携を結び文化交流を行ってきた。 また、広小路夏祭りで「モンテーニュ号」(山車)の運行、冬のイルミネーションではモンテーニュ通り周辺を模した装飾を行うなど、多くの来場者に友好を知らしめ国際交流の推進に貢献した。
しんしろしくさいこうりゅうきょうかい 新城市国際交流協会 にほんごきょうかい 日本語教室 (新城市)	新城市内の外国籍住民のための日本語教室を継続して開催した。 日本語学習支援だけでなく、伝統行事など日本文化の紹介を行いながら、花見、花火、忘年会などの交流会を実施し、外国人住民の心の拠り所として地域の多文化共生に貢献した。
とくていひえいりかつどうほうじん 特定非営利活動法人 にほんごぶんかきょうかい 日本ウクライナ文化協会 (名古屋市)	名古屋市内でウクライナ文化の紹介、ウクライナのジトーミル市において、名古屋文化を紹介する取組を実施した。 ロシアによるウクライナ侵攻後、避難民の支援として、母国語で話せる場、日本語教室、生活に必要な情報提供の場を開設し、就労支援、ウクライナ人カウンセラーによるカウンセリングを実施するなど国際交流・国際協力に貢献した。
びじゅつきょうかい かぜ 美術協会「風」 (小牧市)	長年にわたり海外との美術交流展のなかで、各国の紹介、料理や音楽などを通じた文化交流会などを実施した。 あいちトリエンナーレ2016パートナーシップ事業では、来場者と海外の作家で共同制作を行うなど、国際交流の推進に貢献した。
とくていひえいりかつどうほうじん 特定非営利活動法人 みらい (知立市)	外国にルーツを持つ小中学生及び高校生に対する学習支援や進路相談を実施した。 外国人住民の孤立した子育てを防ぎ、地域とつながる場を持つための多文化子育てサロンなどに尽力するほか、様々な場で活動紹介や事例報告を行い活動のノウハウを伝えるなど、地域の多文化共生の推進に貢献した。

## 「令和5年度 日本語ボランティア入門講座」を開催しました ▶▶▶▶▶

今年も日本語ボランティア入門講座を、8月～11月にかけて開催しました。大学や日本語教育機関などで活動されている5名の方を講師に迎え、全8回の講義をしていただきました。多くの方からお申込みいただき、抽選の結果、32名の方に受講いただきました。

講座では、愛知県の外国人住民の状況や日本語ボランティアの役割といったベーシックな内容から、県内4つの日本語教室のボランティアの方々にどのように活動しているかを聞いたり、実際に活動する場合の活動案の作成など実践的な内容まで学んでいただきました。

講座の第6・7回では、「日本語学習支援の方法と内容として行動体験型の活動について取り上げ、グループごとに行動体験型の活動案を作成するワークショップを行いました。何回か顔を合わせた受講者同士、また、日本語ボランティア未経験の方と既に活動している方が想像力を働かせ活発に意見を交わしながら作り上げていました。他のグループが作成した案を見た感想にも、「気づきがあった」「面白い」など、新たな視点が生まれたことをうかがわせる意見も多く聞かれました。

また、講座の一環として、県内の日本語教室の見学もしていただき、最終日には、見学の感想を共有し、今後自分たちにできることについて話し合っていました。

受講者からは、「ボランティアのイメージが持てた」「日本語教室が期待されていることなど根本を考える機会になった」「より興味を持つことができた」「対話型の重要性が理解できた」などの声をいただきました。この講座を受講されたことにより新たな疑問が生まれた方の感想もありましたが、今後の日本語ボランティアの活動の中で、経験を積み重ね地域の日本語教室でご活躍いただければ幸いです。

▶愛知県内には、およそ240の日本語教室があります。当協会ウェブサイトに、日本語教室検索ページを設けておりますので、ぜひご参考になさってください！ <https://www2.aia.pref.aichi.jp/aiawp/school/>

▼グループでの活動案作成（講座第7回）



## 「外国人児童生徒指導関係者スキルアップ研修 in 大口町」を開催しました ▶

9月30日(土)に大口町とNPO法人まちなつと大口と共催で、「外国人児童生徒指導関係者スキルアップ研修」を行いました。この研修は、外国につながりを持つ子どもたちの指導に携わっている日本語ボランティアや学校関係者向けに、外国人児童生徒への指導にあたり、悩んでいることを解消し、さらなる指導スキルの向上を目的として開催しているものです。

大口町には2つの日本語教室があり、日本語ゼロレベルの子どもへの対応と学校での学びにつながる教科指導の方法について、学年や習熟度が異なる子どもたちへの個別指導が難しいという問題を抱えていました。

今回の研修では、NPO法人トルシーダ理事長の伊東浄江さんにご自身の経験や実際に取り組んでいる事例を共有していただきながら、「日本語ゼロの子どもへの対応及び教科指導の方法」をテーマに、ご講義いただきました。

グループワークでは、学年及び年齢、読み書き及び会話レベル等の違う子どもが教室に来たことを想定して、クラス分けを考え、少人数でのグループ指導について学びました。また、地域の日本語教室の目的と教室での活動を参加者同士で共有し、地域の特色も活かしながら、今後の活動につながるヒントを見つけることができたと思います。

受講者からは、「色々なワークショップを通して、日頃の活動の再確認ができ、新しい発見があった」等の感想をいただきました。

今回の研修が、各地域の教室に合ったそれぞれの運営方法のなかで、新たな気づきや困りごと解決のきっかけとなり、外国につながりを持つ子どもを支援する皆さんの活動のお役に立てることを願っています。



▲講義の様子



## Focus on!

## 国際交流ステーション

市町村や市町国際交流協会、NGO/NPOなどの活動紹介や最新ニュースをお届けするコーナーです。

## 長久手市国際交流協会

1992年ベルギー王国ワテールロー市との姉妹都市提携をきっかけに、1994年当協会が設立されました。日本人と外国人が共に理解し地域の一員として活躍するまちの実現を目指した活動を続け、2024年で設立30周年を迎えます。

一人の青年の希望で始まった日本語教室は現在週5日の開講となり、様々な日本語学習に対する要望に応え着実に成果を上げてきました。現在は日本語学習だけでなく生活支援の場として、学習者のよりどころとなっています。日本語支援と同時に教室活動の充実を図るため、ボランティアのスキルアップ研修も行っています。年々増加する外国人の子どもたちの学校での日本語教育支援も2022年から行っています。

昨年10月にベルギーの文化を紹介する「ベルギー ワテールロー フレンドフェス in ながくて」を開催しました。今年1月に15年間続いた弁論大会に代わり自分の想いをそれぞれの方法で表現する「くーてトーク」、5月には多文化を楽しむ「みんなのEXPO 国際交流フェスタ in ながくて」を開催する予定です。

また今年度は市内および近隣にある大学と連携し、「ながくて留学生交流会」を立ち上げました。9月に着物着付けなどの日本文化体験、11月に長久手市の歴史を感じ学ぶバスツアーを行い、留学生、日本人学生、地域住民の、今までとはひと味違った交流が始まりました。さらにイベントだけでなく毎週土曜日に開催している「NIA集いの広場」では、日本人や外国人、誰もが気軽に集い話し合える場を作っています。

協会員や多くの市民に親しまれるイベントを企画運営し、先に掲げた目標へ向かって会員一同力を合わせています。2024年は、積み重ねた30年をさらに飛躍させるとの想いをひとつにして前進し、常に進化し続ける協会でありたいと思っています。



▲電子版 NaNa



▲ボランティアのスキルアップ研修 (8月)



▲留学生バスツアー (長久手古戦場)

## 長久手市国際交流協会

URL: <https://nagakute-nia.jp/>

1992 (平成4)年10月8日 長久手市・ベルギー王国ワテールロー市姉妹都市提携

1994 (平成6)年6月30日 長久手市国際交流協会設立

協会員数 388人

団体・法人会員 23団体 2023年4月現在

## Focus on!

## 世界の街かどレポート

世界各地で活躍する方々に現地の活動や交流の様子をレポートしていただくコーナーです。

## 日本語学習者が見た香港と日本の常識の違い

香港 (香港大学專業進修学院 佐藤 遥)

香港といえば、民主化デモ運動の映像や、映像の中で流暢に日本語を話す若者の様子が日本の人々の記憶にはまだ新しいかもしれません。約750万人が香港に住んでいる中、今も2.4万人(国際交流基金 2019)近くの方が日本語を学んでいます。私は成人学習者を対象に初級から上級までの日本語授業を提供する学校に勤めています。香港では成人教育の推進を目的とした助成金「持續進修基金(CEF)」が後押しし、仕事をしながら、仕事終わりや休みの日に熱心に日本語を学んでいる人が多いのです。

香港の公用語は中国語と英語ですが、町では広東語、普通話(北京語)、英語だけでなく、世界中から集まった人々によって、様々な言語が話されています。多くの言語に触れる機会がある中で日本語を選んだ学生たちに、ある授業で「日本と香港で違うと思う習慣」



▲日本語のクロスワードに挑戦する学生たち

について考えてもらいました。「香港では電車の中でも電話したり大きな声で友達と話しているが、日本の車内はとても静か」「何かを頼まれたとき無理ならはっきり断るのが常識だと思っていたが、日本でははっきり断ることが失礼になると聞いた」これらは、他の国の人々もたびたび口にするのですが、「レストランで食事する時、香港ではいつも温かいお湯やお茶が出てくるが、日本では冷たい水が出てきて驚いた」「私はレストランへ行くと他の客と相席するのは普通だと思っていたが、日本ではあまりないようだ」など、香港ではレストランで温かい水やお茶が出されたり、相席が日常的に行われる一方、日本に行ったときには違って驚いたという声も聞きました。

それらの違いを楽しみ、日本の人々の丁寧さに尊敬の念を抱き、日本文化を愛する人々が、ここ香港には多くいます。コロナ禍の渡航制限がなくなってから、毎週のように学生から「日本へ行ってきます」という声を聞かたび、彼らが日本で素敵な時間を過ごせることを祈りながら、日本語を教える日々を過ごしています。



▲温かいお茶と海鮮料理(南丫島(ラマ島))

ようこそ!

## 愛知の ものづくりを支える留学生

愛知県では、2013年度以降、アジア諸国からの大学院レベルの留学生を受け入れ、さらに県内企業への就職を促すことにより、全国一を誇るものづくり産業を支える人材の確保に努めています。このコーナーでは、愛知県の奨学金制度を利用し、県内の大学で学んでいる留学生の皆さんを紹介しています。

名古屋工業大学 大学院 インド出身 バラークシャヤ スレシュさん

### ◇日本に来たきっかけは

私が通っていたインドの大学では日本語が必修でした。さらに私は家の近くにある日本語の語学学校にも通っていたので、日本語を使って何か特別なことがしたい!と思い留学することに決めました。インターネットで色々調べたところ、自分の興味のある分野を研究している教授を見つけ、直接メールをしました。そして面接を受けることができ、見事合格!名古屋工業大学に入ることができました。奨学金についてはYouTubeで様々な奨学金について紹介しているインド人の動画があり、それを見て愛知県の「愛知の産業グローバル化を支える留学生受入事業」制度を知り、申し込みました。



### ◇どんなことを研究していますか

携帯電話の電波で4Gや5Gという言葉聞いたことがあるかと思います。私は今5Gと6Gを使うためのアンテナの設計について研究しています。とてもおもしろいですよ。教授のサポートが手厚いので難しいと思うことはありません。日本語は少し難しいですが、研究の発表は日本語でも英語でもいいよ、と教授が言ってくれるので助かっています。

### ◇将来の夢は?

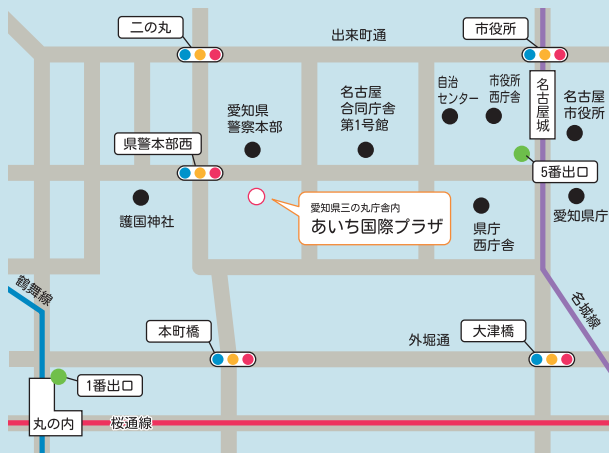
愛知県の奨学金制度で日本に来たので、その恩返しのために日本の、特に愛知県の企業で働きたいです。日本の大手通信系の会社に就職できたらいいな、と思っています。インターンシップの経験を活かしてこれから就職活動がんばりたいです。また、日本語能力試験の1級を取得したいです。私にとっては漢字が難しいのでもっともっと勉強しないといけないと感じています。



日本の景色のきれいなところを旅行するのが大好きです。今まで東京、大阪、京都、広島、長崎、大分など様々なところに行きました。別府で温泉に入ったり、長野で雪を見たりしたのが印象的でした。長野の温泉では猿と温泉に入ったのがとてもおもしろかったです。これからも色々なところを訪れてみたいです。

◀長野県を旅行した際の写真

### ■ 協会案内図及び交通案内



地下鉄名城線「名古屋城」駅5番出口より徒歩5分  
地下鉄鶴舞線・桜通線「丸の内」駅1番出口より徒歩10分

### ■ 編集後記

世界弓道大会の取材や母県訪問団の随行など、今回は外国籍の方や日本人けど海外に在住の方など、様々な方とお話する機会がありました。とても面白く、刺激を受けたのですがスペースの関係で書ききれなかった内容がたくさんあります。みなさんにもぜひ知っていただきたいのでメルマガなどほかの機会があれば書いていきますね。(甲村)

### ■ 開館時間案内

開館時間 月曜日から土曜日 10:00～18:00  
(金曜日は10:00～20:30)  
休館日 日曜日、祝日、年末年始(12/29～1/3)

### ■ 編集・発行

令和6年1月15日発行  
公益財団法人愛知県国際交流協会  
〒460-0001 名古屋市中区三の丸2-6-1 (愛知県三の丸庁舎内)  
TEL: 052-961-7903 / 052-961-8744  
FAX: 052-961-8045  
URL: <https://www2.aia.pref.aichi.jp/>

\*本誌を作成するにあたり、企業・個人の方に取材を通じてご協力いただいておりますが、登壇する企業・個人の営業活動の促進を目的とするものではありません。